

日野町橋梁長寿命化修繕計画

令和 6 年 3 月作成

背景・目的

令和 6 年 3 月現在、日野町は 156 橋の橋梁を管理しています。その内訳は、橋長 15m 以上の橋梁が 44 橋、橋長 15m 未満の橋梁が 112 橋であります。全橋梁のうち約 72% が、10 年後には建設後 50 年以上の高齢化を迎えます。近年の交通量の増加や車両の大型化などにより、橋梁の置かれる環境は建設当初からさらに厳しさを増しており、損傷の進行が懸念されます。

令和元年度から令和 5 年度までに実施した定期点検の結果を基に、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行いました。日野町では引き続き、従来の損傷が大きくなってから補修を行う「対症療法的な修繕」から、損傷が小さいうちに計画的に補修を行う「予防保全的な修繕」への転換を目指し、維持管理費用の削減と平準化を図るものとしします。

橋梁管理について

日野町で行う橋梁の目視点検は、日常の道路施設パトロールの他に、専門業者による定期点検を行っています。

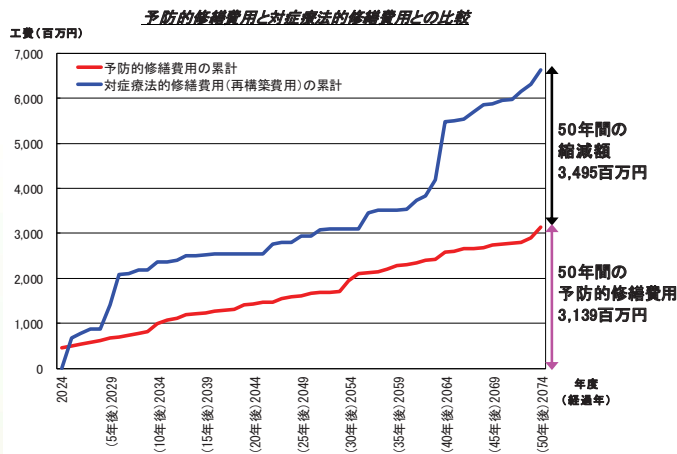
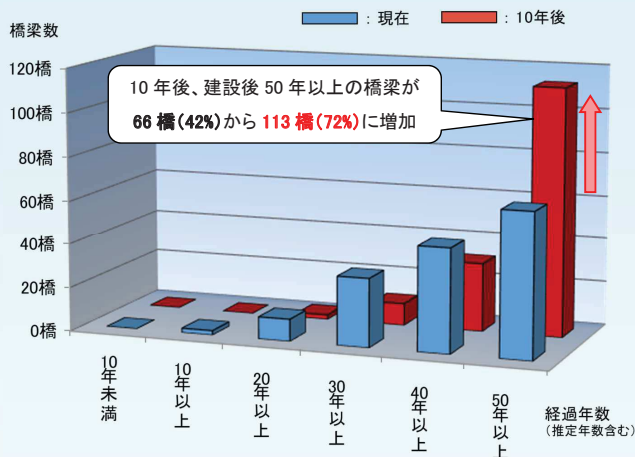
このように点検することで、いち早く橋梁の損傷具合を把握しながら、損傷が大きくなる前に補修・補強を行うことで橋梁の寿命を延ばし、維持管理にかかる費用を縮小するように努めています。平成 26 年度以降、5 年に一度の近接目視による定期点検を全 156 橋に対して実施しており、令和 6 年度からは 3 巡目の定期点検を行う予定です。

長寿命化修繕計画の効果

損傷を受けている箇所を早期に発見し対応することで、補修の範囲や方法、材料費なども少なくなり、維持・修繕のための費用を節約することができます。

全 156 橋に対して計画的に点検と補修を行った場合での経済的な効果は、今後 50 年間で約 35 億円程度の費用の削減が可能と予測しています。（右のグラフ）

また、損傷が大きくなる前に補修を行うことで、橋梁の寿命もさらに延命できるので、上手に管理することで寿命を 100 年以上とすることも可能です。



今後の方針

メンテナンスサイクルの構築と持続的な取組み

マネジメントサイクルの考え方を具体化し、「点検～診断～措置～記録」を確実に実行することで、メンテナンスサイクルの持続的発展を目指します。

橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の削減への取組み

予防保全的な修繕を目指した「日野町橋梁長寿命化修繕計画」は、定期点検の結果を基に定期的な見直しを行います。短期計画で定めた「点検・補修設計・補修工事」などを確実に実行することで、費用削減の実現を目指します。

日常的な予防保全への取組み

道路パトロール等により異常の早期発見に努め、利用性に直結する変状（段差、高欄の変形、土砂詰まり）に対する健全性回復を積極的に対応します。

さらなるコストの削減を目指した、新技術等の活用及び集約化・撤去への取組み

点検・修繕等での新技術等の活用を検討し、令和 10 年度までに約 1 割の橋梁での導入・採用を検討し、約 4% のコスト削減を目指します。また、迂回路が存在し集約が可能な橋梁については、令和 10 年度までに 1 橋を対象とした集約化・撤去へ向けた検討を行います。

学識経験者への意見照会

この度の「日野町橋梁長寿命化修繕計画」の策定見直しでは、橋梁のマネジメントの専門家である大阪工業大学 工学部都市デザイン工学科 三方康弘 教授からご指導・ご助言を頂いております。



日野町役場 建設計画課

住所：滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目 1 番地 TEL：0748-52-6561